



# 志津中だより

Shizu Junior High School News



## 1月号

令和8年1月7日発行



志津中学校5本柱

1. 挨拶をする
2. 清掃を一生懸命にする
3. 人の話を聞く
4. 時間を守る
5. 歌声を盛んにする

### 飛躍の午年

### ～自分の可能性を広げる年に～

校長 村上 武宏

新しい年が明けました。元旦はとても良い天気で、各地で初日の出を拝むことができたことと思います。成田山新勝寺には、全国各地から大勢の初詣客が訪れ、賑わう様子がテレビやニュースで報道されていました。保護者の皆様、地域の皆様には、謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年も本校の教育活動にご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

今年の干支は「午年」、そして60年に一度の「丙午（ひのえうま）」の年です。干支の中でも特にエネルギーで、情熱や行動力を象徴する年とされています。馬のようにまっすぐ前を向いて走る姿は、挑戦や飛躍のイメージそのものです。目標に向かって一生懸命に努力を積み上げていく中学生の理想の姿に通じるものかもしれません。本校の生徒たちにとって、「新しいことに挑戦する」、「夢を追いかける」自分の可能性を広げる1年になることを期待します。

前回の午年の2014年には、ソチ冬季オリンピック大会で羽生 結弦選手が19歳という若さで金メダルを獲得するなど「羽生フィーバー」に沸いた年でもありました。今年も4年に一度の冬季オリンピックがミラノ・コルティナで開催されます。フィギュアスケートで3大会連続出場する坂本花織選手は、今季限りで引退を表明しており、最後のオリンピックになります。神戸出身の坂本選手は阪神・淡路大震災を知らない世代ですが、「神戸っ子」として震災の記憶を受け継いできた選手です。地元神戸の人たちは、「自分たちの子どもみたい。神戸の宝物です。」と言いながら応援をしてきました。坂本選手も自分が必死になってやっていることが地元の人たちに力を与えていることがうれしくて、スケートの大きな可能性を感じたそうです。引退後は、指導者として「神戸から世界に羽ばたく選手をさらに出していきたい」と思い描く未来があると話していました。そのためにも、今回のオリンピックでは、「いつも通り、戦闘モードで自分らしくできたら、おのずと結果がついてくる。今まで以上に完璧を求めたい」と坂本選手らしい決意表明をしていました。トップレベルで活躍するアスリートの常にポジティブな気持ちにはいつも感銘を受けます。さらに今年は、野球のワールドベースボールクラシック、サッカーのワールドカップも開催されます。どのスポーツ界でも選手たちの抱負の中に、「次世代の選手や子供たちの目標になるような試合をしたい」という言葉が並びます。スポーツに限りませんが、大人が必死に頑張っている姿は、子供たちの目に、明るい未来を写しだします。日本チームの活躍と子供たちの心を動かす試合を期待したいと思います。

さて、令和7年度の締めくくりの時期になります。この3ヶ月で1年間のまとめと共に次年度への準備をしていくことになります。1、2年生は進級に向けて、3年生は、進路決定、卒業に向けて、有終の美を飾るべく、努力を続けて欲しいと思います。「守破離」という言葉があります。剣道や茶道などで、修行における段階を示したものです。「守」は、師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身に付ける段階。「破」は、他の考え、自分に合ったより良いものを取り入れ、心技を発展させて既存の型を破る段階。「離」は一つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立する段階とされています。それぞれの段階にかかる時間には長短があると思いますが、「守破離」の段階を中学校3年間で考えると3年生は、まさに「離」の段階です。4月からの生活に向けて、中学校3年間の基にして、更に新しい力強い自分になれるように、これまでで最も充実した3ヶ月にして欲しいと思います。孟子の言葉に「天がある大任を授けようとするときは、まずその人の見心を苦しめ、その人をあえて窮乏の境遇におき、その人に成さんとする」と、逆行するような不如意を与えてまでも、その人を試練されようとする」という教えがあります。これは、天が人に重大な任務を与える際、厳しい試練を与えることで、その人が大任を負わせるに足る人物に育てようとしていることを示しています。逆境を乗り越えることで、忍耐力や成長の機会が得られると考えられています。3年生にとっては、受験は、まさに高校生になるための大きな試練でもあります。これを乗り越えたときの人としての成長度は大きいものです。

今年の午年に因み、志津中生徒たちにとってパッカパッカとひたすらゴールを目指して全力疾走する馬のように「飛躍の年」になることを願っています。

## 全国学力・学習状況調査（生徒質問紙）における本校の結果考察

4月17日に実施された全国学力・学習状況調査（中学3年生対象）の生徒質問紙において、本校では次のような傾向が見られました。

国語と理科では、勉強が好き・得意と回答する生徒の割合が多く、数学では、問題の解き方がわからない時に諦めずに色々な方法を考える生徒の割合が高く、粘り強い学習姿勢が見られました。

また、自分にはよいところがあると感じている生徒の割合や、先生が自分のよいところを認めてくれていると感じる生徒の割合も多かったです。学校に行くことが楽しいと答える生徒の割合も高く、前向きに学校生活を送れていることがわかりました。一方で、授業中の個別指導が足りていないと感じる生徒の割合が高いことが課題として挙げられます。家庭での学習時間も短い傾向が見られます。さらに、PCやタブレット機器を活用して、情報を整理したり、プレゼンテーションを作成したりすることが苦手な生徒も少なからずいることがわかりました。

今後は、授業研修をとおして個別指導も含めた教職員の指導力の向上を図りながら、ICTを用いて自らの知識を活用して思考し、表現する学習活動を多く取り入れていくよう努めます。家庭学習につきましては、家庭と協力しながら、自らの学習を調整していく力をつけていきたいと考えています。

## 佐倉市の全国学力・学習状況調査結果の概要について

先月号と今月号とで、全国学力・学習状況調査結果の志津中学校の分析をお知らせしましたが、佐倉市の結果の概要について、佐倉市教育センターHPに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

## ＜保護者の方々へのお知らせ＞

### 2月20日（金）オープン・スクール（1・2年）を実施します

本校では、開かれた学校づくりを推進し、家庭や地域とともに歩む学校づくりを進めています。その一環として、以下のとおりオープン・スクールを実施し、授業の様子をご覧いただく機会とします。是非ご参観くださるようお願いいたします。

1. 日にち 令和8年2月20日（金）
2. 時間 1～3校時（8：40～11：15）
3. その他 教科等については、後日改めて文書を配付いたします。



## 令和9年度千葉県県立高等学校入学者選抜の日程について

県教育委員会は、「令和9年度千葉県県立高等学校入学者選抜の日程」を定めました。これは、現在の2年生が受検するものです。検査の期日等については、以下のとおりです。

- ① 一般入学者選抜の学力検査等の期日・・・令和9年2月16日（火）及び17日（水）
- ② 入学許可候補者発表の期日・・・・・・・・・・令和9年3月2日（火）

なお、今年度の入学者選抜から、調査書の記載項目が精選されました。削除された項目は、「総合的な学習の時間の記録」、「出欠の記録」、「行動の記録（第3学年）」、「総合所見」です。

また、「高校無償化」も進んでいます。来年度からは、私立高校も授業料は実質無償となることになります。このように高校受験は、入試制度とともに大きな変換を迎えていることがわかります。

## ～ 1月の行事予定 ～

- 7（水）全校集会 自転車点検  
給食なし 一斉下校
- 8（木）給食開始 学級優先日
- 12（月）成人の日
- 13（火）生活・いじめアンケート配付  
一斉下校
- 15（水）新入生保護者説明会
- 16（金）3年私立入試開始（～20日）  
1・2年弁当持参  
3年2校時後下校
- 19（月）一斉下校
- 20（火）専門委員会（3年最終）
- 21（水）校内授業研修会（数学・英語）



- 22（水）1年職業人に学ぶ会
- 23（金）全校評議会（3年最終）
- 26（月）一斉下校 学年優先日
- 27（火）1・2年教育相談①
- 28（木）1・2年教育相談②



### 2月の主な予定

- 13（金）諸活動停止（～18（水））
- 16（月）3年自宅学習
- 17（火）・18（水）第4回定期試験  
公立高校入試
- 20（金）オープンスクール（1～3校時）
- 27（金）大志祭